



# KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

2022. **12**月号

鹿児島ワイズメンズクラブ No. 384

- 国際会長：K.C.Samuel [インド] フェロウシップとインパクトで次の100年へ  
Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT
- アジア太平洋地域会長：Shen Chi-Ming [台湾] 新しい時代とともに、エレガントに変化を  
Elegantly Change with New Era
- 西日本区理事：田上 正 [熊本むさし] 原点を知り将来に生かす!  
Know the origin and utilize it in the future!
- 九州部部长：今村 格 [熊本クラブ] 熱意をもって、自クラブ活性化に貢献しよう。  
Let's contribute to activate your club with enthusiasm.



SDGsに取り組みながら、クラブの未来を創造しよう!  
Let's create the future of the club while working on the SDGs!

鹿児島クラブ会長  
松永 英明

## 六甲部部会参加報告

鹿児島クラブ 中堀 清哲

11月12日(土)に六甲部部会が宝塚ホテルに於いて開催されました。今期はDBCクラブの宝塚クラブの若林ワイズが六甲部部长ですので、どうにか出席したい、ということで松永会長と私で出席しました。会場の宝塚ホテルは宝塚歌劇団の劇場の隣です。宝塚駅から街自体が劇場との一体感で素敵な感じ。約120名の出席者があり、部会と懇親会が滞りなく開催されました。会場には元鹿児島クラブ会員の田辺ワイズ(神戸ポートクラブ)のお元気な姿もありました。懇親会の中では元タカラジェンヌの絵莉千晶さんの歌謡ショーがありました。かつて2010年まで宝塚歌劇団花組にて歌唱力のある娘役として活躍されました。彼女が会場に姿を見せた瞬間に、パッと雰囲気が変わり、歌唱力に会場が酔いしれました。本当に素敵な歌声でした。宝塚クラブの皆さんはホスト役でお忙しそうでしたが、私どもの訪問に喜んでくださいました。また、ゆっくり交流出来る機会があればいいなと思います。



▲会場の様子



▲懐かしいお顔が…。



▲絵莉千晶さん

TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

vol.  
06

## 会長通信

鹿児島クラブ会長 松永 英明



SDGsに取り組みながら、クラブの未来を創造しよう!  
Let's create the future of the club while working on the SDGs!

早いもので、今年も締め括りの月となりましたが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。日頃のワイズダムへのご奉仕に心より感謝申し上げます。

先日の例会は、西日本区理事の田上 正氏、綺綸堂代表の岩下淳子氏をお迎えしまして開催しました。開催後は会場近くの居酒屋で懇親会をしました。短い時間ではございましたが、たくさんのお話し合いを持つことが出来ました。また、貴重なご意見もいただきました。やっぱり懇親会は必要ですね。少しずつではございますが、クラブが成長し、地域のためにYMCAのためにお役に立ち続けていけるように頑張っていければと感じました。

改めてワイズの役割とは何だろうかと考えることがあります。YMCAを始めたジョージ・ウィリアムズは、18世紀後半から19世紀にかけて、産業革命によって小さな子どもたちが過酷な労働条件で働かされ、人間としての人格や尊厳さえも認められないような姿を見て、その人間性の回復のために立ち上がりました。まさに人間復興です。YMCAの出発点は、この子どもたちを自分は生きるに値するという生きる意味が与えられるところからです。アメリカに伝わってから飛躍的に発展をみることとなります。YMCAを発展させ、運動を展開するために専門職のスタッフを置いたというのがワイズの出発点です。そのようにしてワイズはYMCAと共にあったと言えます。大切なこととして、ワイズはYMCAと共に青少年の健全な育成をということがその願いの根底にあることを忘れてはなりません。

これからますます寒さも厳しくなりますが、皆様お身体を大切に元気で新年を迎えましょう。

vol.  
06

## 理事通信

西日本区理事 田上 正



原点を知り将来に生かす!  
Know the origin and utilize it in the future!

2022-2023年度も折り返し時点に近づいてきました。11月は10月末から部会、クラブ周年行事、役員会や研修会が続き、毎週土曜日と日曜日のカレンダーは予定で埋まります。この数年なかった対面での部会や周年行事が対面で行われるようになりました。皆様の笑顔に接する時、仕事やワイズ活動に忙殺されていた自分が癒されていくのを感じます。

10月29日の西中国部会ではI Prayの活動を通して平和への、るうてる食堂クレヨンからの活動から地域づくりのメッセージをいただきました。懇親会では広島カープ往年の名選手の名前がテーブルの名前になっていました。11月3日瀬戸山陰部部会が姫路太子キャンプ場で開催されました。キャンプ場にかかわりのあった皆様が一堂に集いました。YMCAのキャンプから青少年育成への多くの学びを得ています。11月12日六甲部会では、これまでの地域奉仕の数々に焦点をあて紹介していただきました。また懇親会では元宝塚ジェンヌの歌唱ショーを堪能させていただきました。

11月19日京都ブラッククラブは18名のメンバーでのチャーターを迎えました。新クラブチャーターまでのご苦労に敬意を表します。11月7日はWEB参加になりましたが、沖縄クラブの設立総会が挙行されました。周年例会では、京都ウイングクラブ35周年、京都クラブ75周年、大阪泉北クラブ40周年が盛大に開催されています。祝辞をご依頼いただくと、各部、クラブの歴史や活動などをリサーチしますが、それらにかかわってこられたすべてのワイズメン、メネットの情熱を感じます。

10月22日、23日に熊本城彩苑と阿蘇キャンプ場において第2回役員会を開催しました。ワイズの会員減少に加え、経済状況の停滞や円安と物価高の影響は、西日本区の会計にかなりのダメージを与えています。2019年3月に財務特別委員会が発表した財政破綻へのシミュレーションが現実のものとなってきました。これまでに支出減に努め、殊に役員への旅費の削減や研修会等への自己負担増によって対応してきました。例えばJWFの取り崩しや西日本区サポートファンドの創設によっても将来の展望が開けません。西日本区会計の現状を各部長の方々へすべて開示し各部に於いて各会長の方々に説明していただくこととし、その勉強会も行っています。なにとぞこの実情をご理解いただき、財政健全化の取り組みに西日本区一丸となって取り組めるようにしたいと存じます。明日の西日本区を創

る新ワイズアカデミーの取り組みとして、3月の次期会長・主査研修会において、新しい企画として討論の場を開催するようにLD委員会と話し合い準備を進めつつあります。2月4、5日にANAクラウンプラザホテル神戸に於いて開催される第3回東西日本区交流会では、ワイズの他、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、キワニスクラブの代表の方々と、社会奉仕団体のこれからの奉仕の在り方などについて話し合う企画を持ちました。また2日目には東西日本区の有志にパネラーとなっていたいただき、ワイズ発展のためのタブーなしの討論を企画しました。多くのアイデアが生まれることを期待しています。

今年一年の皆様方のご奉仕に感謝し、良いクリスマスと新年をお迎えくださいますようにお祈りいたします。

## 今月の樹

## マユミ

12月になっても、鈴を吊したようなピンクの実が鮮やかである。マユミは雌雄異株である。紅葉も散って色目の無くなった庭には有り難い存在である。

実に比べると、5月に咲く花の方は地味である。黄緑色で目立たないが、よく見ると可愛い濃紫色の4つの雄しべと小さな雌しべが一つ見える。雄花では雌蕊が退化して花柱がない。学名は *Euonymus sieboldianus* で、ニシキギ科ニシキギ属である。sieboldianus は、シーボルトが採取したと言う意味。



## 11 November 定例会報告

日 時：令和4年11月22日(火) 19:00 ~ 20:20  
 場 所：よかセンター 第3会議室  
 出席者：9名  
 司会者：松若・中堀

### 11月例会の記録

クラブ在籍者	10名
出席者	7名
メネット	0名
コメット	0名
ゲスト	2名
ビジター	0名
メイクアップ	1名
11月出席率	100%

## 12 December 企画例会報告

日 時：令和4年12月13日(火) 19:00 ~ 20:30  
 場 所：Zoom  
 出席者：中堀、園屋、徳田、松若、新内、大平、松永

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 今月の聖句

高い山に登れシオンに良い知らせを伝える者よ。  
 力の限り声を上げよエルサレムに良い知らせを伝える者よ。  
 声を上げよ、恐れるな。ユダの各地の町に言え。  
 「見よ、あなたがたの神を。」  
 見よ、主なる神は力を帯びて来られ御腕によって統治される。  
 見よ、その報いは主と共にありその報酬は御前にある。  
 主は羊飼いのようにその群れを飼いその腕に小羊を集めて、懐に抱き乳を飲ませる羊を導く。

イザヤ書 40:9-11



## 第13回

## 鹿児島YMCAインターナショナル・チャリティーラン2022

12月3日(土)第13回鹿児島インターナショナル・チャリティーラン2022を無事に開催することができました。今年は初のふれあいスポーツランドを会場とし、芝生広場にて1周400mの特設コースを作り競技を開催しました。4名から10名で構成される10kmのリレーマラソン部門では18チーム110名がたすきをつないで走りました。また、1/100マラソン(421m)では4歳から小学校1年生までの4名がチャレンジし、全員が完走しました。

障がいについて理解を深める目的で、「ブラインドランナーズ」の方々に運営のご協力をお願いし、ブラインドラン体験を通じて、視覚障碍体験や伴走などの支え方などを学び、体験しました。見えないことへの恐怖や、相手への声のかけかた、寄り添い方など実際に体験してみないとわからないことが多く参加者からは、このチャリティーランで運営側が伝いたいこと、支援の意義について、様々な温かいご意見を頂戴しました。

協賛金と、参加費を合わせまして、総額147,472円の寄付金を頂きました。(12月3日現在)この集められた収益金は障がい児やサポートを必要とする子どもたちのための支援金として活用させていただきます。大会趣旨にご賛同、ご支援、ご協力頂いた皆様ありがとうございました。来年もよろしくお願ひ致します。



鹿児島YMCA 大平 さやか